

## 日福大「語り継ぐ」

### 25人犠牲バス事故から40年

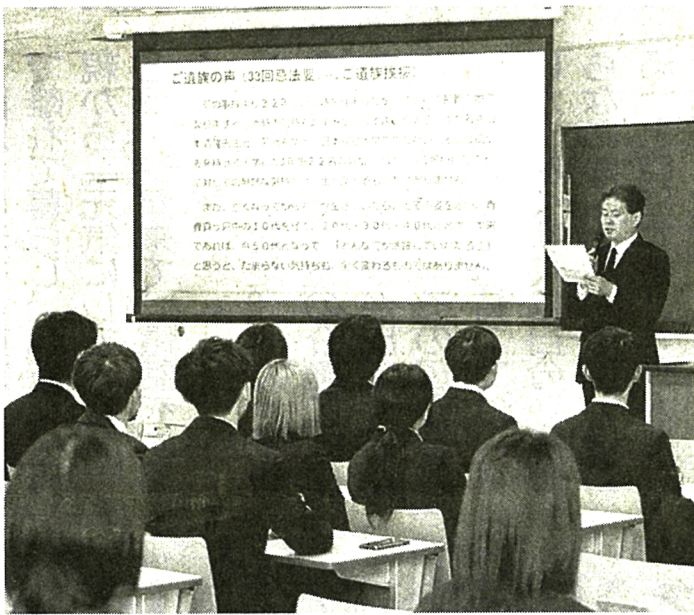
スキー実習に向かうバスが長野市の川に転落し、日本福祉大(愛知県美浜町)の学生ら25人が死亡した事故から28日で40年となるのに合わせ、大学は同日、現場近くの慰霊碑前で法

要を開いた。遺族や同級生ら25人が参列。慰霊碑に花を手向けた。

当時大学職員として対応に当たった丸山悟理事長はあいさつで「事故当時を知る職員はほとんどいなくなっ

と決意を述べた。現場は川をせき止めたダム湖で、吊いのため遺族らが湖面に向かって団子を投げる場面もあった。当時バスに乗車し生還したもの、多くの同級生を失った香山久子さん(59)「埼玉県蔵市」は「亡くなった同級生が」やりたかったことを、私なりにやっていけたら」と話した。

開催。集会に先立って高校の同級生を事故で亡くした原田正樹学長が、学生約50人に、事故の様子や遺族の声を伝えるオリエンテーションをした。原田学長は「普通の暮らしは尊いこと。亡くなった先輩の思いを引き継いで社会で活躍してほしい」と話し、学生は神秘的な面持ちで聴き入っていた。



日本福祉大で、学生に遺族の声を伝える原田正樹学長—美浜町で

事故は1985年1月28日早朝に発生。長野県内のスキー場を目指していたバスが、凍結した路面でスリップして犀川に転落した。46人が乗っていて大学生22人、教員1人、乗務員2人の計25人が犠牲となった。

大学は愛知県のキャンパスでも追悼集会を